

Fukushima Suguru

福島 卓

福德不動産 社長



九州・沖縄を担うトップ群像

「業務効率化進めサービスの充実図る」

MEMO

- 1982年7月6日生まれ
 - 長崎市出身
 - 西南学院大経済学部卒
- 大学卒業後、ダイワハウス工業入社。3年半の勤務の後、祖父が興した福德グループに入社、2011年に社長に就任した。趣味は旅行と読書、掃除。10月に本社の近くに3階建ての新居が完成、引っ越した。家族も喜んでおり、「心機一転、頑張ろう」と気力がますます充実しているという。



今期はこれまで準備してきたことを形にしていく1年になる。店舗網の充実や再編もその一つで、9月には大村市に出店。県央地域にも支店ができたことで、長崎県全域で機動的に動ける態勢が整った。

また、長崎市内では長崎中央支店をより利便性の高い思案橋電停近くのビルに移転、浜町店と合併して賃貸やテナント、仲介業務の

拠点とした。ビルの2階には「福德相続サポートセンター長崎」を置き、毎月相続に関するセミナーを開催。相続や遺言、信託、手続きなどの各種相談にも対応している。旧長崎中央支店は「住宅売買センター」に衣替えし、一戸建てや分譲マンションの売買を専業で行っている。さらに12月には長崎駅前店もリニューアル、将来的に

は支店化も見据えている。

本社機能の面では業務効率化に注力している。来春には、経理などのシステム構築を手がけるシステムエンジニアを5人から9人に増員。さらなる効率化につなげ、余力をお客さまへのサービスに振り向けたい。現在の管理戸数は約1万4100戸。今期は1万5000戸にまで増やすのが目標である。